

意見書案第 7 号

令和 3 年 9 月 6 日

松前町議会議長 伊 藤 幸 司 様

提出者 松前町議会議員 梶 谷 康 介

賛成者 松前町議会議員 疋 田 清 美

賛成者 松前町議会議員 飯 田 幸 仁

賛成者 松前町議会議員 沼 山 雄 平

賛成者 松前町議会議員 宮 本 理恵子

賛成者 松前町議会議員 福 原 英 夫

賛成者 松前町議会議員 近 江 武

賛成者 松前町議会議員 工 藤 松 子

賛成者 松前町議会議員 西 川 敏 郎

賛成者 松前町議会議員 斉 藤 勝

賛成者 松前町議会議員 堺 繁 光

松前半島道路の整備促進を求める意見書について

上記の議案を別紙のとおり松前町議会会議規則第 1 4 条第 1 項及び第 2 項の規定により提出します。

松前半島道路の整備促進を求める意見書

松前半島道路は、北海道松前町から北海道新幹線木古内駅周辺や函館・江差自動車道茂辺地木古内道路に接続する路線で、平成１０年に地域高規格道路の計画路線に指定され、令和３年に新広域道路交通計画に位置付けられた。

現道の国道２２８号は、昭和６３年に旧国鉄松前線が廃止となって以降、当該沿線地域の人・物の流通を担う唯一の道路として地域を支えている。しかし、急峻な地形と津軽海峡に挟まれた海岸線に位置しているため、台風や低気圧による大雨や大しけ、落石などにより通行止めがたびたび発生し、北海道新幹線開業や翌年の函館・江差自動車道茂辺地木古内道路開通を機にした観光や産業振興、高齢化が進む地域住民の生活、医療施設への救急搬送や通院などに不安を抱えている。救急搬送では、ドクターヘリによる利用が普及してきているが、カバーする地域が広範囲なうえ、台数も限られ、荒天時や夜間には救急車による搬送が欠かせないことから、道路に依存する割合が大部分であり、重要性が増している。

また、令和３年７月に松前町と福島町の間に位置する白神覆道の上部コンクリート片の落下により、一時通行止めとなったが、人的被害はなく安堵したものの、住民の不安は増大し、救急搬送及び公共交通に大きく影響したうえ、規制区間６kmに対し、う回路が１４７．５kmと日常生活にも大きく支障を生じる形となった。

さらに、北海道が公表している「太平洋沿岸の津波浸水想定」は、令和３年に改定され、木古内町、知内町及び福島町とも現道の国道２２８号海岸沿線の多くが浸水想定域となり、対策として、避難や救助、救命に必要な高規格道路の整備が急がれている。

以上のことから、災害に強く、渡島西部のブランド力のある農水産物を安全、確実に出荷でき、救急搬送の速達性・定時性を確保し、救命率の向上を図る松前半島道路の早期整備は、沿線住民の長年の悲願である。

つきましては、本路線の一日も早い整備と開通が確実なものとなるよう強く要望する。

記

区 分	要 望 事 項
地域高規格道路 松前半島道路	松前～木古内間（約６０km）の松前町側からの事業化に向けた調査促進及び早期着工

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

(提出年月日)

(提出先)

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、国土交通大臣

北海道松前郡松前町議会議長 伊 藤 幸 司